

平成23年度決算に係る

定期監査調書

平成24年6月

中部教育局

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況	1頁
3	組織及び業務調べ	1頁
4	職員の定員、現員調べ	2頁
5	役付職員の調べ	2頁
6	主な事業に関する調べ	3頁
7	収入証紙取扱額調べ	9頁
8	収入事務処理状況調べ	9頁
	(1) 分担金及び負担金	
	(2) 使用料	
	(3) 手数料	
	(4) 財産収入	
	(5) 諸収入	
	(6) 現金の取扱状況	
9	収入未済額調べ	10頁
10	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	11頁
11	不納欠損額調べ	11頁
12	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	11頁
	(1) 負担金	
	(2) 補助金	
	(3) 交付金	
	(4) 委託料	
13	工事請負費調べ	11頁
14	財産に関する調べ	11頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の受払状況	
	(3) 債権	
15	財産の貸付及び使用許可調べ	11頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品	
16	借受不動産明細調べ	11頁
17	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	11頁
	(1) 職員住宅	
	(2) 職員駐車場	
18	自動車(二輪を除く)の管理状況調べ	11頁
19	寄附物件の受納状況調べ	11頁
20	備品の処分状況調べ	11頁
21	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	11頁
22	小中学校等への支援の状況調べ	12頁
○	意見・要望等	12頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課名	係(班)名	課の主な所掌事務
鳥取県教育委員会 事務局中部教育局	学事係	<ul style="list-style-type: none"> ・公印の管守に関する事 ・管内小中学校管理の指導、人事及び給与に関する事 ・児童生徒数・学級編成及び教職員定数に関する事 ・教育表彰に関する事 ・臨時的任用職員の発令に関する事 ・非常勤講師の任免・報酬の支払に関する事 ・叙位・叙勲に関する事 ・局予算の執行に関する事
	学校教育係	<ul style="list-style-type: none"> ・市町立学校の学校運営、教育課程、学習指導及び生徒指導に関する事 ・関係各課、市町教育委員会との連絡に関する事 ・市町立学校の教科用図書及び教材の取扱いに関する事 ・学習障がい等特別な教育支援を必要とする児童生徒の教育指導に関する事 ・幼児教育に関する事 ・管内教職員の研修、研修派遣及び研究指定に関する事 ・人権教育に関する事 ・教育相談に関する事
	社会教育担当	<ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習及び社会教育に関する事 ・社会体育に関する事 ・公民館の設置運営に関する事 ・社会教育関係団体との連絡及び必要な指導及び助言に関する事

4 職員の定員、現員調べ

(平成24年4月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備 考
	当 該 年 度	24.4.1 現 在	当 該 年 度	24.4.1 現 在	当 該 年 度	24.4.1 現 在	当 該 年 度	24.4.1 現 在	
定 員	12	12	1	1			13	13	
現 員	()	()	()	()	()	()	()	()	
過不足(△)	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時職員							0	0	
非常勤職員							0	0	

5 役付職員の調べ

(平成24年6月1日現在)

職 名	氏 名	在 職 期 間		備 考
		年	月	
局 長	永 田 彰 寿	0	2	中部総合事務所 参事監
次 長	近 藤 健	1	2	出納員

6 主な事業に関する調べ

事業名	概要
<p>教育局運営費</p> <p>決算(見込)額 5,202千円</p> <p>(財源内訳) 一般財源 5,202千円</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中部地区の学校教育及び生涯学習・社会教育の振興・充実を図るため、中部地区の実態を把握し、学校及び市町教育委員会に対し、指導、助言、情報提供を行う。 <p>(イ) 事業の実施状況</p> <p>◎学校の活力を高める支援と協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ○授業改善・教育課題の解決、新学習指導要領への対応に向け、学校の実態を把握し、協働して「学校力」の向上を目指した。 <ul style="list-style-type: none"> ・要請訪問…小学校30校、中学校12校へ各2回以上計画的に訪問した。 (事前研究会や研究主任との打合せも含める) ・幼稚園、保育所の要望に応じて訪問を行った。 ・生徒指導に係る学校訪問（「23 小中学校等への支援状況調べ」参照） ・小中学校・高等学校連携推進事業【詳細は5頁】 ・人間性・社会性を基盤とした授業研究支援事業【詳細は7頁】 *以下「育ちと学びのサポートユニット事業」 ○学校運営・人事管理上の課題(教職員評価育成、教職員配置等)への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・人事に関する学校訪問を各学校年2回行った。 ・小・中学校事務の共同実施責任者会を年3回開催し、学校運営の課題について改善策を検討した。 ・校長会(月1回)教頭会(年3回)で学校運営上の問題点等を協議し、適切な指導助言を行った。 ・中堅教員を対象に「教育法規の運用について」の研修会を行った。 ○PTA活動の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・PTA指導者研修会 年1回 ◎市町教育委員会の自立度を高める支援と協働 ○学力向上へ向けての協働 <ul style="list-style-type: none"> ・中部地区指導主事連絡協議会(年3回)開催 ・研究主任等研修会(年1回)開催 ・市町主催の研修会への協力、参画(倉吉市教頭研修会、湯梨浜町各種研修会等) ○特別支援教育の充実に向けた校内体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・定期的、継続的な巡回相談等による支援を行った。 ・特別支援学級担任のための手引きを活用した学級経営の充実と年間指導計画の作成について助言した。 ・校内支援体制の整備にあたり個別の教育支援計画・個別の指導計画を継続的に活用するよう助言した。 ○地域活動・生涯学習の活性化 <ul style="list-style-type: none"> ・社会教育、社会体育、社会人権・同和教育担当者研修会の開催(年16回) ・公民館職員・社会教育主事等企画能力向上研修会の開催(年2回) ・学社連携(学校教育と社会教育の連携)による生涯学習推進

教育局で発行している情報誌にて、学社連携の各取組を実施地区以外の地域にも周知した。

- ・社会教育及び人権教育に関する市町合同研究協議会の実施
(実施市町:三朝町・湯梨浜町・北栄町)

イ 平成23年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・校内授業研究会の充実のために、校長会資料として「確かな学力の向上をめざして」を毎月作成し、各学校、各市町教育委員会に送付した。
- ・授業研究会の充実のために「めざす授業の姿」「校内授業研究チェックシート」を作成し、学校での活用を働きかけた。
- ・各種研修会や、県事業の取組をホームページで紹介した。
- ・中部地区指導主事連絡協議会の持ち方を工夫し、各市町教育委員会との情報交換、情報共有に努めた。

ウ 成果

- ・各学校の学校課題を把握し指導・助言を行うことで、各学校の課題解決の取組を支援することができた。
- ・小学校新学習指導要領全面実施に伴い、年間指導計画の見直し、評価計画の作成、言語活動の充実等について指導・助言することができた。
- ・「育ちと学びのサポートユニット事業」の推進を通して、学び合い、高め合う授業の大切さや各種検査の活用方法について各学校に伝えることができた。特に、実践協力校においては、児童生徒の関係づくりや学級経営の充実につながった。
- ・特別支援教育における計画的・継続的な巡回相談により、校内体制の整備や個別の指導計画及び個別の教育支援計画の継続的活用が推進された。
- ・市町教育委員会の社会教育、社会体育、社会人権・同和教育担当者研修会を主体的に運営し、担当者が抱えている課題を設定したことで、県として効果的な情報提供ができ、各市町の課題解決に生かすことができた。

エ 課題

- ・「育ちと学びのサポートユニット事業」での成果を今後の各学校での実践に生かしていくよう働きかける必要がある。特に、SSTの実践に対する支援を継続していきたい。
- ・特別支援学級の教育課程が適切に編成されるための更なる指導・支援が必要である。
- ・中学校での新学習指導要領の全面実施に伴い、教育課程、評価計画等の作成について支援を行う必要がある。
- ・地教委と連携して、不登校や問題行動の未然防止の取組を進めていきたい。

<p>小中学校・高等学校 連携推進事業 (H19～継続)</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況 (ア) 目的 校種を超えた相互連携・指導の連携により、児童生徒の進路意識の高揚や学ぶ意欲の向上を図る。</p>
<p>決算(見込)額 147千円</p>	<p>(イ) 事業の実施状況 小学校・中学校・高等学校校長会、教頭会で事業の概要説明及び成果のあった取組事例の紹介を行った。 事業実施が円滑に進むように以下の連絡調整等を行った。</p>
<p>(財源内訳) 一般財源 147千円</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校の希望をまとめ高校へ提案し、実施スケジュールを作成(日程調整) ・事業実施に係る各種書類作成及び、提出の連絡(計画書・事業実施・報告書) ・高校への必要経費(需用費・役務費)令達、貸切バス借上手続き ・事業実施の様子を取材し、ホームページに掲載(広報活動) <p>事業内容は以下のとおり</p>
	<p>◎交流活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社小5年生と倉吉農業高3年生(環境科学科) <ul style="list-style-type: none"> ・粳まき体験(5/9)、田植え体験(6/16)、稲刈り・亥の子行事の参加(10/20) ○灘手小1・2年生と倉吉農業高3年生 <ul style="list-style-type: none"> ・動物とのふれ合い体験(7/20、9/26、12/7) ○明倫小栽培委員会と倉吉農業高3年生(園芸科) <ul style="list-style-type: none"> ・花・作物の栽培体験(10/28) ○北条小5年生と倉吉総合産業高2年生(生活デザイン科) <ul style="list-style-type: none"> ・ミシンの操作、ポケットティッシュケースづくりの指導(11/15) ○上北条小5年生と倉吉総合産業高3年生(生活デザイン科) <ul style="list-style-type: none"> ・調理実習の指導(11/17) ○上北条小2年生と倉吉総合産業高3年生(ビジネス科) <ul style="list-style-type: none"> ・紙飛行機づくりとコンテスト(11/24) ○上北条小5・6年生と倉吉総合産業高3年生(電気科システム) <ul style="list-style-type: none"> ・5年電磁石の性質とはたらきを調べる実験の補助(1/13) ・6年手回し発電機を使用して電気を生み出す実験の補助(1/13) ○向ヶ丘レインボープラン(大栄小・大栄中・鳥取中央育英高における連携事業) <ul style="list-style-type: none"> ・大栄小「プール開き」への高校水泳部の参加(6/6)…水泳指導、模範泳法 ・大栄小ボードクライミングクラブへの指導(6/20～2/20:8回) ・大栄小「学習発表会」(10/6)、大栄中「文化祭」(11/5)への高校吹奏楽部の参加 ・大栄小5年生国語科において高校2年生が詩の朗読と解説(10/21) ○久米中1年生と倉吉農業高3年生「花の栽培体験」(9/1、10/3、11/14) ○倉吉西高生徒会との生徒会交流(2/1)久米中生徒会対象 ○倉吉総合産業高生徒会との生徒会交流(1/30) 東郷中執行部員対象

◎出前授業

○倉吉農業高教員による出前事業

- ・数学科授業(12/21)西中3年生対象

○倉吉西高教員による出前事業

- ・英語、数学科授業(10/26)鴨川中2年生対象32名
- ・数学科授業(11/24)西中2年生対象125名
- ・英語科授業(11/25)西中2年生対象125名

○倉吉東高教員による出前事業

- ・音楽科授業(11/9)北溟中3年生対象
- ・音楽科授業(6/20)上小鴨小5・6年生対象
- ・音楽科授業(10/5)上小鴨小3・4・5・6年生対象
- ・音楽科授業(10/3)山守小3・4・5・6年生対象32名
- ・音楽科授業(10/12)北谷小3・4・5・6年生対象36名
- ・音楽科授業(10/17)明倫小4・5・6年生対象
- ・体育(陸上競技)授業(9/27) 小鴨小5・6年生対象
- ・音楽科授業(10/19) 小鴨小4・5・6年生対象

◎授業体験等

○倉吉東高体験学習(中学校3年生希望者対象)

- ・中学生向け英語・数学特別講座(9~1月の毎月1回休業日の午前中に実施)
- 希望する3年生対象111名 (9/24、10/22、11/19、12/10、1/7)

○倉吉西高体験学習

- ・久米中2年生の体験学習(理科、英語)・交流会(11/29)

○鳥取中央育英高体験学習

- ・大栄中2年生「高校での授業体験」(11/30)

○倉吉総合産業高にて上北条小2年生の体験学習「町たんけん」(11/16)

イ 平成23年度の事業実施にあたり改善等に取り組んだ点

- ・事業5年目となり、成果のあった取組事例を校長会、学校訪問等で情報提供した。
- ・市町教育委員会へ事業内容を情報提供した。

ウ 成果

- ・小・中学校から交流活動等の実施希望が増えた。
(H22年度 38回 → H23年度 49回 増加数 11回)
- ・出前授業、体験学習では、「授業がわかりやすく、今の学習の参考になった。」「将来へのためになった。」「うれしかった。楽しかった。」等の感想の声が集まり、進路意識の高揚につながった。
- ・小・中学生との関わりを通じて、高校生自身の有用感、わかりやすく説明する能力の必要性に気づく姿が見られた。

エ 課題

- ・小中学校と高等学校との連携事業が定着してきたため、24年度からは局を介さずに事業実施できるよう、マニュアルを作成して学校に送付した。

<p>育ちと学びのサポートユニット事業研究支援事業</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 児童生徒の豊かな人間性・社会性を育みながら、学び合い、高め合いのある授業をめざす協同的な研究を支援する。</p>
<p>(H22～H23)</p>	<p>(イ) 事業の実施状況</p>
<p>決算(見込)額 224千円</p>	<p>○推進会議(実践協力校校長、関係地教委指導主事等の8名で構成) ・事業内容の説明および今年度の取組について(5/16)</p> <p>○実行委員会(実践協力校担当教諭、指導主事等11名で構成) ・各校の取組および研究会の日程等について(5/16)</p>
<p>(財源内訳) 一般財源 224千円</p>	<p>○SST(ソーシャルスキルトレーニング)公開授業研究会 中部地区小中学校教員参加 ・東伯中学校1年2組、2年2組、3年1組において授業公開(6/2)</p> <p>○SST(ソーシャルスキルトレーニング)公開授業研究会 中部地区小中学校教員参加 ・東郷小学校3年2組、東郷中学校1年A組において授業公開(6/29)</p>
	<p>○実践協力校合同研修会及び講演会 倉吉体育文化会館大研修室 ・研修会(実践協力校校長、担当者参加)(8/18 午前中) ・講演会(中部地区小中学校教員参加)(8/18 午後) 演題 「Q-U等を活用した学級づくり、授業づくり」 講師 奈良教育大学大学院 粕谷 貴志 准教授</p>
	<p>○実践協力校公開授業研究会 ・東郷小学校1年1組「生活科」、4年1組「国語科」公開(11/22) ・東伯中学校1年1組「社会科」公開(11/24) 講師 横浜市教委 蒲池啓子 主席指導主事</p>
	<p>○鳥取県教育研究発表大会で、この事業の取組を発表(2/7)</p> <p>○第2回推進会議(実践協力校校長、関係地教委指導主事等の8名で構成) ・今年度の成果と課題について(2/28)</p>
	<p>○第2回実行委員会(実践協力校担当教諭、指導主事等11名で構成) ・今年度の成果と課題について(2/28)</p>
	<p>○事業の取組等を中部教育局HPへ掲載</p> <p>○SSTプログラムを希望校へ提供</p>
	<p>○取組に当たって留意した点 ・実践協力校へ随時訪問して、具体的な資料等を提示しながら指導・助言を行った。 ・地教委への連絡や校長会等で随時情報を伝え、事業の啓発に努めた。 ・SST公開模擬授業、公開授業研究会、実践発表及び講演会については、各学校1名以上の参加をうながし、取組についての紹介及び啓発を図った。 ・希望校へはSSTプログラム提供および教職員あるいは児童生徒対象のSST演習を実施し、広く啓発を図った。</p>
	<p>イ 平成23年度の事業実施にあたり改善等に取り組んだ点 ・SSTの取組が他の教科や学校生活の中で生かされるように意識して取り組んだ。 ・Q-U検査や学力検査等を活用して、指導の手立てを考えるサイクルを大切にした。</p>

	<p>ウ 成果</p> <ul style="list-style-type: none">・SSTの取組が実践協力校で共通理解され、実態に応じて実施された。・人間関係を土台とした「学び合い、高め合いのある授業」づくりの重要性が中部地区へ啓発できた。・中部地区において全教職員による協同的な研究推進の体制が整いつつある。 <p>エ 課題</p> <ul style="list-style-type: none">・本年度で事業は終了するが、今後も「学び合い、高め合いのある授業」づくり、SST等の諸検査の活用について啓発していく必要がある。
--	---

7 収入証紙取扱額調べ
該当なし

8 収入事務処理状況調べ
(1) 分担金及び負担金
該当なし

(2) 使用料
該当なし

(3) 手数料
該当なし

(4) 財産収入
該当なし

(5) 諸収入

(平成 24年5月 31日現在)
(単位:円)

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	目							
雑入	雑入	非常勤講師 雇用保険料	559	496,630	496,630	0	0	会計規則運用方針 第41条関係	
		個人情報にか かる経費 (コピー、郵送 代)	1	560	0		560	個人情報保護事務 取扱要綱第8	
		計(節)	560	497,190	496,630	0	560		
		目計	560	497,190	496,630	0	560		
		合計	560	497,190	496,630	0	560		

(6) 現金の取扱状況
該当なし

9 収入未済額調べ

(平成24年5月31日現在)

(単位:円)

収入科目	区分		過年度						年度分			収入未済額 (A+B)	未收理由		
	目	節	細節	前年度 以前からの繰越額	左のうち 収入済額	不納 欠損額	差引収入 未済額 (A)	収入未済額の調定年度内訳			現年度分			収入未済額 (B)	
				20年度 以前	21年度	22年度		20年度 以前	21年度	22年度	調定額	収入済額	収入未済額 (B)		
雑入			個人情報にかか る経費(コピー、 郵送代)	560	0	0	560	0	560	0	0	0	0	560	
			計(節)	560	0	0	560	0	560	0	0	0	0	560	
			目計	560	0	0	560	0	560	0	0	0	0	560	
			合計	560	0	0	560	0	560	0	0	0	0	560	

10 未収金回収促進のための取り組み状況調べ

収入科目			債権管理事務取扱要領の作成の有無	取り組み状況	取り組み効果
目	節	細節			
雑入	雑入	個人情報にかかる経費 (コピー、郵送代)	無	来局の際、金銭の話をした	

11 不納欠損額調べ
該当なし

12 負担金、交付金及び委託料支出状況調べ
該当なし

13 工事請負費調べ
該当なし

14 財産に関する調べ
(1) 公有財産
該当なし

(2) 金券類の受払状況
ア 金券の受払状況

(平成24年3月31日現在)

種別	前年度末	本年度中		本年度末	備考
		購入額	使用額		
郵便切手及び郵便はがき	円 17,776	円 35,000	円 52,280	円 496	
収入印紙	0	0	0	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道プリペイドカード	0	0	0	0	
合計	17,776	35,000	52,280	496	

(3) 債権
該当なし

15 財産の貸付け及び使用許可調べ
該当なし

16 借受不動産明細調べ
該当なし

17 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ
該当なし

18 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ
該当なし

19 寄附物件の受納状況調べ
該当なし

20 備品の処分状況調べ
該当なし

21 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ
該当なし

22 小中学校等への支援の状況調べ

(平成24年3月31日現在)
(単位:回)

月別	保育所 幼稚園		小学校		中学校		特別支援 学 校		高等学校		合計	
	相談	訪問	相談	訪問	相談	訪問	相談	訪問	相談	訪問	相談	訪問
4月	0	1	0	11	0	10	0	0	32	23	32	45
5月	1	2	1	40	3	24	0	0	25	15	30	81
6月	0	7	8	86	8	53	0	1	20	16	36	163
7月	0	5	0	38	2	23	0	0	29	18	31	84
8月	0	7	0	3	0	2	0	0	16	9	16	21
9月	0	7	2	20	1	10	0	0	22	14	25	51
10月	0	18	4	29	1	36	0	0	19	15	24	98
11月	0	13	12	120	3	61	0	0	16	15	31	209
12月	0	2	13	43	4	29	0	0	17	13	34	87
1月	0	7	1	14	0	10	0	0	21	19	22	50
2月	0	5	0	6	0	4	0	0	17	16	17	31
3月	0	3	10	11	0	12	0	0	11	8	21	34
計	1	77	51	421	22	274	0	1	245	181	319	954

○ 意見・要望等
なし